

寺田池

(てらだいけ)



全景



野鳥観察会

ため池の概要

ため池の所在地

兵庫県加古川市

ため池の特徴

寺田池は、平安時代(893年)に造られた記録の残る古いため池で、その規模は加古川市で最大です。

築造当時は周辺に他の池が無く水量は豊かでしたが、江戸時代になり上流域の新田開発が行われ流入水量が減少したことから、「寺田用水」という疏水を開削したとの記録が残っています。

池には、希少種の水草であるガガブタをはじめ数多くの動植物が生息し、多様な生態系を形成しています。また冬場には野鳥が数多く訪れ、バードウォッチングのメッカとなっています。

環境保全活動などを行う「寺田池協議会」と、水棲生物や野鳥の観察会を行うボランティア団体「平岡・寺田池を語る会」が両輪となって、地域ぐるみで寺田池を守っていく活動を行っています。

関連情報

寺田池協議会ホームページ

<http://www.geocities.jp/teradaike/>